

福井県公安委員会 開催概要

平成22年8月6日開催「定例公安委員会」



会議状況

1 業務報告

- ・ 犯罪が起きにくい社会づくりの推進
福井県警察における「犯罪が起きにくい社会づくり」の各種施策の推進状況及び今後の方針(現状の問題点・改善策)について報告があった。

2 個別決裁

- (1) 公文書公開決定等報告書
警察本部長に対する情報公開請求(7月21日付け)について、公開決定等の報告があり、これを了承した。
- (2) 平成22年7月中の警察あて苦情の受理・処理状況
平成22年7月中に警察に寄せられた苦情の受理及び処理状況について報告があり、これを了承した。
- (3) ストーカー行為者に対する「警告」の実施
ストーカー規制法に基づきストーカー行為者に対し「警告」を行った旨の報告があり、これを了承した。
- (4) 警察職員等の援助要求
和歌山県公安委員会からの警察職員等の援助要求を受け、これに同意することを決裁した。

2 包括的案件

〈報告事項〉

- (1) 南条郡南越前町の一般住宅における持凶器強盗未遂事件の発生・検挙
県警察から、本年8月3日に南条郡南越前町の一般住宅において発生した持凶器強盗未遂事件につき、翌日、被疑者を逮捕した旨の報告があった。

委員から「凶悪事件がスピード解決できて大変良かった。徹底した裏付け捜査をお願いします。」との発言があった。

- (2) 平成22年度第1四半期監察結果
県警察から、平成22年度第1四半期中の中部管区警察局長が行う総合・随時監察及び警察本部長が行う総合監察の実施結果について報告があった。

委員から「最近、県警において不適正事案が続いているので、今後発生しないよ

うしっかり監察してほしい。」との発言があった。

(3) 平成22年上半期の街頭犯罪等抑止対策

県警察から、平成22年上半期の街頭犯罪抑止等対策に関し、刑法犯認知件数、街頭犯罪抑止対策及び今後の対策について報告があった。

委員から、「毎年、器物損壊の発生が多いようであるが、車のタイヤをパンクさせたりするような行為が該当するのか。」との質問があり、県警察から「この種いたずらのな犯罪は、一度に連続して犯行を重ねる傾向があるため必然的に件数は多くなる。行為については、車のボディを傷つけたりタイヤをパンクさせるなど物を壊すほか、いたずら書きなどがこれに当たる。」旨の説明があった。

委員から「防犯基準に適合した住宅を建築することで、防犯モデル住宅として認定され、しかも建築費借入れの金利引下げの導入計画もある『防犯モデル一戸建て住宅認定制度』は住宅侵入犯罪抑止面で極めて効果があると思う。」旨の発言があった。

委員から「街頭犯罪等を抑止するためのいろいろな施策を効果的に実施し、是が非でも刑法犯認知件数の8年連続の減少を達成していただきたい。」旨の発言があった。

(4) 上半期の交通情勢と夏の交通安全県民運動の実施結果

県警察から、平成22年上半期の交通情勢及び夏の交通安全県民運動の実施結果について報告があった。

委員から「先日、新聞で報道された飲酒運転の処罰に関する記事は、県民の反響が大きく効果があると思うので、今後も適宜飲酒運転撲滅に向けた広報をお願いする。」旨の発言があった。

(5) ツイッター (Twitter) の仕組みと課題

県警察から、インターネット上のコミュニケーションサイトであるツイッターの現状、仕組み、活用例及び問題点 (課題) について報告があった。

委員から、ツイッターの利用者数について確認があり、県警察から「ツイッターは世界中で利用されており、一億人を超える利用者がいると言われている。ツイッターは携帯電話でも利用が可能であることから、携帯電話が普及している日本では、本年内に1千万人を超えると言われている。」旨の説明があった。

委員から「ツイッターを利用した犯罪としては、どのようなことが考えられるのか。」との質問があり、県警察から「可能性としては、なりすましやフィッシング詐欺等が考えられる。」旨の説明があった。

3 運転免許の処分関係

本日 (8月6日) 実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取10件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。